TOPICS

沖縄海洋体験セミナー

参加者の感想文を紹介します!

「沖縄海洋体験セミナーに参加して」

谷口　夢侑

一日目は美ら海水族館に行きました。とくにマンタとジンベエザメはとても大きくて印象に残りました。

二日目はもとぶ元気村に行きました。とくにマーブルが楽しかったです。

三日目はおきなわワールドに行きました。白ヘビといっしょに写真をとったことが印象に残りました。それと、斎場御嶽にも行きました。その後は、沖縄県平和祈念資料館とひめゆりの塔に行きました。とてもしずかできれいな場所でした。国際通りは、とても人が多くて、とても長かったです。

四日目は首里城とナゴパイナップルパークに行きました。首里城はふっこう中でも、とてもきれいでした。パイナップルパークで食べたパイナップルはとてもおいしかったです。

本来は、三泊四日のはずでしたが、台風で一日長く沖縄に滞在することになりました。あっという間の五日間でしたが、今回の体験セミナーのおかげでいろんなことを学んだり知ったりすることができました。今回お世話になった公民館の方、いっしょに行った小学生達、そして、自分にいろんなことを教えてくださった沖縄の方々のおかげで一生の思い出ができました。なので、一人ぐらしができる年齢になったら、沖縄に住めたらいいなと思いました。本当にありがとうございました。

「沖縄に行っての感想」

大林　泰基

ぼくは、沖縄に行ってたくさんのことを知ることができました。美ら海水族館では、ジンベエザメやマンタを間近で見ることができてすごく、はくりょくがありました。とくにマンタの横はばは、4m 60㎝もあると聞いて、すごくびっくりしました。

もとぶ元気村では、スリルをあじわえたマーブルが一番楽しかったです。そしてイルカは、時速40㎞で泳ぐと聞いてすごくびっくりしたし、すごくかわいかったです。あと、シーサー作りは思った以上に難しかったです。

おきなわワールドでは、しょうにゅう洞がすごく大きくてびっくりしたし、すごくきれいでした。ハブ博物館にいたヘビが、すごく大きくてびっくりしました。そしてエイサーショーもすごくはくりょくがあって、見ている方もすごく楽しくなりました。

平和祈念資料館では、被害を受けた人の証言を読み、戦争はやっぱりこわいし、ダメだなと思いました。

首里城では、燃えてしまったのを職人さんたちがすごいスピードで、修復作業をしていてすごいと思いました。そしてはやく元にもどってほしいです。

パイナップルパークでは、パイナップルを食べることができてすごく、あまくておいしかったです。

このような体験をすることができて、いい思い出になったし、すごく楽しかったので、また沖縄に行きたいと思いました。

「沖縄海洋体験セミナー」

森永　陽月

わたしは、沖縄に行っていろいろなことを学びました。最初に空港でうどんを食べました。その後飛行機に乗って沖縄に行きました。その後、美ら海水族館で魚やエイ、ジンベエザメも見ました。とてもきれいでびっくりしました。

二日目、もとぶ元気村でバナナボートやマーブルに乗ったり、イルカとふれ合ったり、オーシャンランドで遊んだりしました。午後は、シーサーやサンゴ風りんを作りました。へとへとだったけど、五年生にさそわれて、ホテルのプールで遊んでとても楽しかったです。

三日目は、斎場御嶽で聖地を見てまわりました。雨が少し降った後だったので、すべりそうだったけど神ぴ的でした。その後おきなわワールドでエイサーを見たり、ガラスせい品や紅型体験をしました。見たこともないおどりで、びっくりしました。最後に、平和祈念資料館に行って戦争のおそろしさをあらためて実かんしました。

四日目、首里城のしゅう理を見ました。とてもすごい火事だったんだなと思いました。その後予定が変わって、パイナップルパークでパイナップルの乗り物に乗りました。そして、国際通りでお土産を買ったりしました。

五日目、波上宮とひめゆりの塔に行きました。

この五日間で沖縄の過去や良さ、伝統が少し分かった気がしました。とても楽しく学べた五日間でした。

「楽しかった、沖縄県」

濵口　ちなみ

わたしは、沖縄県に行って、一番楽しかったのは、もとぶ元気村です。なぜかと言うと、バナナボートやマーブルに乗って、イルカにさわったり、シーサーを作ったりいろいろな体験ができたからです。特にマーブルは乗る前は、はねてこわそうと思っていたけど乗ると、はねるのが面白かったです。

美ら海水族館では、大きなジンベエザメやマンタがいました。

一番印象に残ったのは、平和祈念館とひめゆりの塔です。なぜかと言うと戦争の残こくさが分かって、いつもより命の大切さを実感できたからです。

他にはパイナップルパークでパイナップルを食べたり、沖縄県で最も格式の高い波上宮や世界文化い産の斎場御嶽に行ったり、首里城の修復作業を見ました。移動中には、アメリカ軍の基地を見たり、船上にウォータースライダーがあるクルーズ船を見てみんなでびっくりしました。

おきなわワールドで琉球ガラスやミニバックを作ったり、友達とホテルのプールで遊んだり、国際通りで買い物をしたりしました。

台風のえいきょうで飛行機がおくれたり、欠航になり四泊五日になったけど、もりだくさんで、毎日が楽しくワクワクした沖縄体験でした。また、行きたいです。

「楽しかった沖縄海洋体験セミナー」

武田　燈俐

ぼくは、体験セミナーで沖縄に行きました。行く前は、この日にはこれをして、この日はここに行くんだなと、毎日のように日程表を何度も何度もワクワクしながら見ていました。だけど、当日になると家族と長い時間、はなれることや遠い所に行くことに少し不安にもなってきました。

沖縄に着いてからは、いつも体験できない事の連続で、ヘビを肩にのせて写真をとったり、イルカの体をさわってナスみたいな感触なんだなと思ったり、ガラス細工やシーサーの焼き物を作ったり初めてする事ばっかりでした。

一番印象に残ったのは、マーブルで、その日は台風の影きょうで波が荒く、しっかり手で掴まっていても海に落ちそうになるのを、頑張ってふりおとされないようにするのがスリルがあっておもしろかったからです。

沖縄での五日間は、想像以上に楽しく不安な気持ちは、いつのまにかなくなっていました。首里城や平和祈念資料館、アメリカ軍基地にも行き、沖縄の文化や歴史・戦争についても考える良い機会にもなりました。ぼくは平和が一番だなと思いました。

四泊五日の沖縄体験セミナーは、ぼくにとって最高の夏休みの思い出になりました。良い経験をありがとうございました。

「沖縄のやさしい人たち」

竹田　陽色

私が、沖縄体験セミナーに行ってみて、一番強く思ったことは、沖縄の人はみんなやさしいということです。なぜそう思ったのかというと、みんなあいさつをしてくれたり、笑顔で私たちに親切にしてくれたりしたからです。ほかにも、会ってはいないけど、うらでかつやくしている人も頭にうかんで来たからです。たとえば、全日空のCAさんがハンカチをくれたり、タクシーの運転手の宮城さん二人がとても親切で、おかしをくれたり、あと、美ら海水族館で、このジンベエザメの世話をしている人はすごいなと思ったりしました。そのたびに、私の中には感謝があふれて来て、幸せや、うれしいなどの気持ちがいっぱい出て来て、私からもあいさつをして良かったと思いました。またやろうと思います。

あと、自分でも感謝を届けたいなと思ったので、沖縄のいいところやうれしかったことを、広めたり、徳島県でも、そして他の県や国でも、笑顔であいさつをしたりしたいなと思いました。そこで、沖縄県の人は、どうやって笑顔やあいさつを練習しているのだろうとぎもんに思って、考えてみました。そしたら大きな戦争があって、「平和」を大切にしている県だからかなと私は思いました。

この作文を書いて見てもらう事によって、自分の思いや感じたことを知ってほしいし、友だちの感想も見てほしいなと思いました。